

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】 第 3 部門第 2 区分

【発行日】 平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】 特表 2005-506977(P2005-506977A)

【公表日】 平成 17 年 3 月 10 日 (2005.3.10)

【年通号数】 公開・登録公報 2005-010

【出願番号】 特願 2003-523216(P2003-523216)

【国際特許分類】

C O 7 D 207/416 (2006.01)

C O 7 D 233/90 (2006.01)

C O 7 D 403/14 (2006.01)

【F I】

C O 7 D 207/416 Z C C

C O 7 D 233/90 C

C O 7 D 403/14

【手続補正書】

【提出日】 平成 17 年 4 月 21 日 (2005.4.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

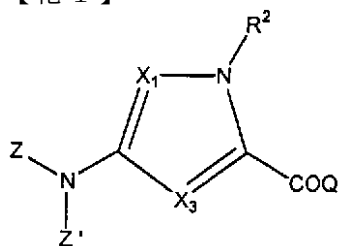
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

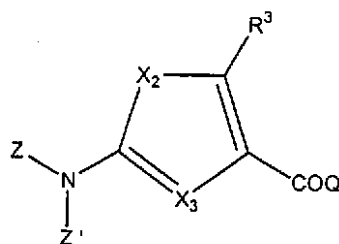
【請求項 1】

式 (4) 又は (6) :

【化 1】



(4)



(6)

で示される、5 員ヘテロ芳香環を含むアミノ酸ハロゲン化物。

(式中:

Q は C l 又は B r であり;

Z 及び Z' は、独立に、水素、又はアミン保護基であり、同じであっても異なってもよく、但し Z と Z' の少なくとも一方は、それらが結合する窒素原子と共にカルバメート部位を形成し;

X₁ は N 又は C R¹ であり;

X₂ は O、S 又は N R¹ であり;

X₃ は N 又は C R⁴ であり;

R¹ は、独立に、水素及び置換若しくは非置換アルキルから選択され;

R² は、独立に、水素、置換若しくは非置換 C₁ - C₁₀ アルキル、置換若しくは非置換 C₂ - C₁₀ アルケニル、又は置換若しくは非置換 C₂ - C₁₀ アルキニルから選択され、但し、X₃ が C H であり X₁ が N である場合には、R² はメチルではなく;

R³ は、独立に、水素、置換若しくは非置換 C₁ - C₁₀ アルキル、置換若しくは非置

換 $C_2 - C_{10}$ アルケニル、置換若しくは非置換 $C_2 - C_{10}$ アルキニル、又はハロから選択され、但し、 X_2 が S であり X_3 が N である場合には、 R^3 は水素ではなく；及び R^4 は、独立に、水素、ヒドロキシ、又はアルコキシから選択される。）

【請求項 2】

式 (4) で示され、ここにおいて (i) X_1 が N であり、 X_3 が CH であり、 R^2 が水素又は置換若しくは非置換 $C_2 - C_{10}$ アルキルであるか、あるいは (ii) X_1 が CH であり、 X_3 が CH 又は N である、請求項 1 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

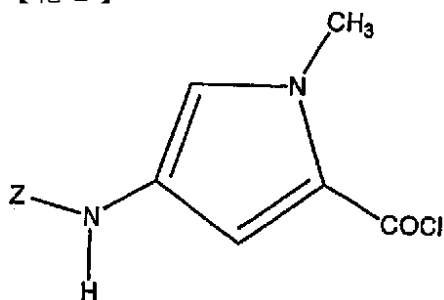
【請求項 3】

式 (6) で示され、ここにおいて (i) X_3 が N であり、 X_2 が S であり、 R^3 が置換若しくは非置換 $C_1 - C_{10}$ アルキルであるか、又は、(ii) X_2 が NH 若しくは NCH₃ であり、 X_3 が N 若しくは CH である、請求項 1 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 4】

式：

【化 2】

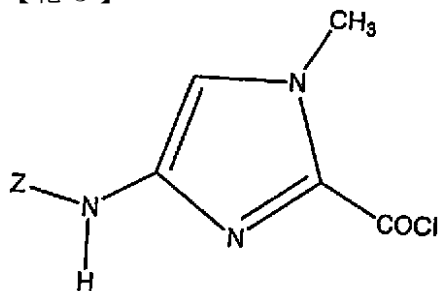


[式中、Z は請求項 1 で定義したとおりの保護基である]
で示される、請求項 1 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 5】

式：

【化 3】



[式中、Z は請求項 1 で定義したとおりの保護基である]
で示される、請求項 1 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

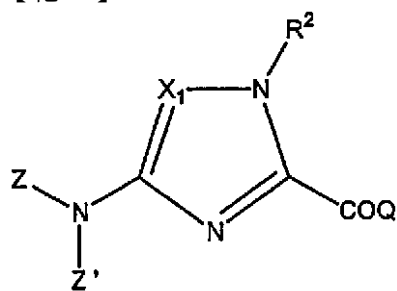
【請求項 6】

ヘテロ芳香環が、ピロール、イミダゾール、フラン、ピラゾール、チオフェン、オキサゾール、チアゾール及び 1, 2, 4-トリアゾールから選択される、請求項 1 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

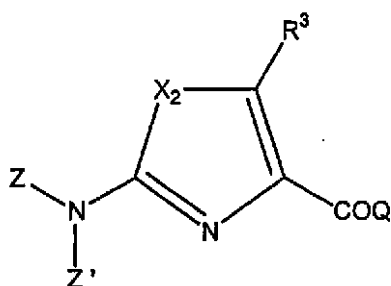
【請求項 7】

式 (7A)、(7B)、(9A) 又は (9B)：

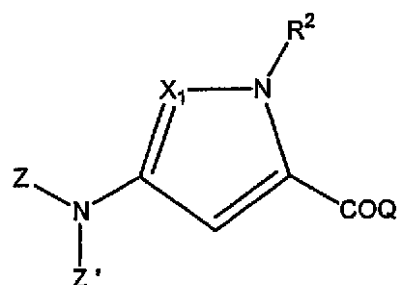
【化 4】



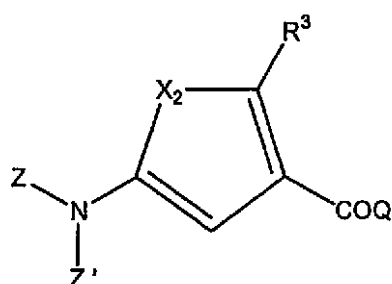
(7A)



(9A)



(7B)



(9B)

〔式中、Q、Z、Z'、X₁、X₂、R¹、R² 及び R³ は請求項 1 で定義したとおりである〕

で示される、請求項 1 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 8】

Z が保護基であり、Z' が水素である、請求項 7 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 9】

Z が α -ブトキシカルボニル又は 9-フルオロエニルメトキシカルボニルである、請求項 4、5、又は 8 の 1 項に記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 10】

Q が C1 である、請求項 9 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 11】

式 (7A) 又は (7B) で示される、請求項 10 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 12】

X₁ が CH であり、R² が H 又は CH₃ である、請求項 11 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 13】

式 (9A) 又は (9B) で示される、請求項 10 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 14】

X₂ が NH 又は NCH₃ であり、R³ が H 又は CH₃ である、請求項 13 記載のアミノ酸ハロゲン化物。

【請求項 15】

X₂ が O である、請求項 13 記載のアミノ酸ハロゲン化物。